



高校事務ってこんなことがあるの？

*** 高校の事務業務を垣間見る ***

沖学労組合員は、小中学校と高等学校、両方の事務職員で組織しています。両方を経験している組合員もいます。なので、小中学校と高校の両方の仕事の共通点や違いについて話す機会が多くあります。

給与・旅費等共通する業務もありますが、歳入・歳出等、小中にはない業務等について、高校事務職員の視点で思いつくまま書いていきます。

*** 高校の卒業式はなぜ3月1日なのか ***

雑学的な始まりですが、卒業式以降に発行可能となる「卒業証明書」作成時に、「なぜ、卒業式は3/1になったのだろう？」と、ふと疑問に思っ調べてみました（実は、前に昭和卒業の卒業証明書発行時に3/1でないものがあったのを思い出したから）。

卒業台帳を元に、卒業した日を年を追って調べると下記の結果になりました。

- 平成2年以降・・・・・・・・・・3月1日
- 平成元年・・・・・・・・・・3月10日
- 昭和63年・・・・・・・・・・3月8日
- 昭和62年・・・・・・・・・・3月10日
- 昭和47年～昭和61年・・・・3月1日
- 昭和46年・・・・・・・・・・3月2日
- 昭和40年～昭和45年・・・・3月3日
- それ以前・・・・規則性なし(3/5、3/2など)

この事実を事務室で話すと、もう退職した先輩の事務長が「昔は、校長会で毎年卒業式の日を決めていた」とのこと。先のデータを見る限り、毎年3/1になったのは「平成」に入ってからです。

*** 卒業証明書発行手数料について ***

小中ではなじみの無い手数料徴収について、

業務的には「歳入」という、沖縄県にお金を納める行為ですが、その手数料を3/1の卒業式後から徴収するのか？、ということでもめた学校があったことを、前記卒業式つながりで思い出しました。

規則では、在学生の各種証明手数料は無料なので、新卒業者も3/31までは無料で卒業証明書を発行していた（3/1は卒業式という式典だけで在籍は3/31までだから、在籍中は無料との考え）。それが、調べてみると、卒業式後からは当然卒業であり、在籍はしないことから前記問題が起こったようです。

ということは、3/1の卒業と同時に手数料を徴収することが正しいことになる？訳ですが、規則を精読すると、「卒業者が卒業した月の末日までは無料」と規定がありました。

結果的には「3/31まで手数料無料」は正しかった事になりますが、理由が違っていたのは事実で、「人の思いこみは怖いなあ」と思った事柄でした。

*** 体育館の使用許可について ***

高校では、良く〇〇競技大会会場での体育館使用許可の申請があり、その使用料計算で必要な使用面積の確認があります。

アリーナの半分なのか、全面的のかはもちろん、舞台も使うのか等の確認作業ですが、おもしろいのは、使用料徴収の対象は「専有面積」であり、玄関やトイレなどは専有して使用しない「共有」なので使用料面積には含めないことです。

では、どこまでが専有なのか？となりますが、基本的にアリーナのコート面や放送室等、もっぱら専用使用する所となり、これまでの研修会や質疑応答での積み重ねの解釈で具体的に判

まだまだ続くよ！高校事務って・・・

断されています。

ちなみに、先の玄関やトイレ、更衣室は専用
に使用する所とはならず「共有」と解されてい
ます。

前記施設使用料の他にも、実費負担として「光
熱水費」の徴収もあります。

実際の計算も、単価表や従来 of 計算方法との
比較で安い方を適用するとか、前納が原則の為
使用前に支払いをさせるとか、結構大変です。

*** 漏電について ***

施設つながりで思い出したのは、漏電による
不思議な停電です。

それは、良くある雨降りに水滴や湿気により
傷のある電線からの漏電で漏電ブレーカーが作
動して停電してしまうことではなく、晴れた日
に突然漏電ブレーカーが作動して停電した事例
です。

業者を呼んで、測定器を使った電線のチェッ
ク（そもそも晴れた日に電線による漏電はほと
んど考えられない）や、使用中の器具の確認（「照
明器具や扇風機等電気を使用している機械）、最
後は漏電ブレーカーそのものの故障を疑い、取
り替えてみても復旧しませんでした。

念の為、他にも漏電箇所がないかチェックす
ると、殆ど使用がない建物のクーラー用電気が
通電していないのを見つけました。

原因は、その建物経由の動力電線の一本が焼
けており、別の新たな漏電だとの思いで修繕を
行い、復旧させました。

すると、突然業者が「もしかしたらこれで最
初の漏電ブレーカーも復旧するかもしれない」
と仰いだし、戻って確認すると、本当に復旧し
てしまいました。

なぜ復旧したのか！実は、最初の漏電した建
物と後で見つかった漏電の建物は、間に他の建
物がある何十メートルも離れた場所にある上に、
電線も直接つながっていないため、どう考えて
も理解できなかったのです。

業者に説明を求めると「漏電で流れ出た電気
は地面に逃げる為、離れた場所の漏電ブレーカ
ーへアース線から逆流して悪さをするのは現実
にあり、また、電気は必ずしも近くではなく何
らかの理由で流れやすい所に流れるので、今回
の件もあり得る」とのこと。その業者も、話には
聞いていたが、初めての体験だとびっくりして
いました。

今でも時々思い出す、不思議な出来事でした。

*** 最後に ***

他にも歳出や備品のことや、給与や旅費の小・
中ではなじみの無いシステムに係る作業など、
実務的なことも書こうかと思っておりましたが、
今回は「へえ」と思う出来事がおもしろいかな
あとと思いまとめてみました。

反響が良ければ、この続きや、小・中の業務に
ついても「へえ」と思う出来事も書いていけれ
ばと思っています。

～～～ 翁長知事の死去に思う ～～～

8月8日、翁長雄志知事が、志し半ばで死去
されました。

辺野古基地建設反対に象徴される、沖縄の為
に次の世代へ負の遺産を受け継がせない、まさ
に命をかけた行動に、私たちはどう答えていく
のか、今が正念場だと思います。

8月11日の県民大会に7万人も集まったこ
とは、まさに県民の意志の表れだと思います。

アメリカの人種差別運動で活躍したキング牧
師の言葉に、『最大の悲劇は、悪人の圧制や残酷
さではなく、善人の沈黙である。』とあります。

出来る範囲で良いです。何か一つでも、思い
を行動に昇華させましょう。

カンパまっています。よろしくお願ひします。

カンパ先

郵便振替 02090-0-2239

沖縄学校事務労働組合